



ゴロスケ報々



トンボ池の水の上を移動してた
ハシリグモの一種

友の会行事のお知らせ

●望年会のお知らせ●

恒例の <望年会> が下記の通りに開催されます。
今年最後のイベント、暮れの忙しいときですが 奮ってご参加ください。

- 1.開催日 : 平成30年12月22日(土曜日)
- 2.会場 : 観察センター&ゴロスケ館前
- 3.集合 : 9時
- 4.参加資格 : 友の会会員および その家族
- 5.服装他 : 多少よごれてもよい物、飲み物、軍手

●設立30周年記念イベント「親子☆森のミニたたら体験」のお知らせ●

日時：2月16日(土) 9:00~ <雨天翌週に順延>
内容：親子☆森のミニたたら体験参加者による、たたら炉製鉄の実施
会場：炭焼き小屋

友の会会員(その家族)は、イベント当日受付にて記名して見学可能(作業はできません)
※腕章をお持ちの方はご持参ください

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●11月理事会報告●

日時 2018年11月18日(日) 10:20~13:00

出席者 秋元、今村、大浦、落合、小島、志釜、関根、中里、西山、村松、山口、吉田、
掛下R、尾崎R (文書参加:青木、中塚) (欠席:漆原)

議題

1 中間報告

- ・事業(行事等順調に実施)及び会計の中間報告がありました。

2 次年度事業方針

- ・2019年度の主要日程(総会、まるごと体験、望年会)を検討・確認しました。

3 長期目標&30周年準備

- ①イベント:記念講演会結果及びたたら製鉄見学の準備状況を確認しました。
- ②記録誌:編集作業中との報告がありました。
- ③記念品:発注済、ゴロ報同封予定との報告がありました。

4 利用推進会議(後期)

- ・2/2(土)12:30~15:00開催予定です。

5 安全管理

- ・次年度講習会のテーマ検討、事故等報告(なし)、保険の付保対象の確認を行いました。

6 その他

- ・森の家改修工事について横浜市市民局及び工事事業者から説明があり、臨時駐車場確保や外構植栽の課題につき対策を要望しました。
- ・指定管理者制度導入の議会案件について横浜市みどりアップ推進課から説明があり、友の会からはこれまでの3者協働の実績を尊重した運営者の選定について要望しました。

<次回理事会>

日時 1月20日(日)11:00(定例会終了次第のため早まる可能性あり)~12:30

場所 自然観察センター研修室

議題 次年度計画、定期総会準備、利用推進会議、安全管理、その他(指定管理者制度ほか)

●森の家駐車場一時閉鎖のお知らせ●

2019年1月~8月まで、森の家の改修工事に伴い、森の家駐車場(バーベキュー場の駐車場を含む)が利用できなくなります。公共交通機関をご利用ください。

日時 2018年11月18日(日) 9:00~10:00

出席者 秋元、今村、大浦(議長)、落合、片岡、関根(書記)、篠原、高橋、高柳、中里、西山、星隈、村松、山口、吉田、渡部、掛下 R、尾崎 R

議事

1. 行事報告、PJ 報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。
2. 行事予定の確認をしました。
3. ごろすけ館の利用調整をしました。
4. 事務局より
 - ・次年度計画、年度末のまとめについて、各 PJ へお願いをしました。
 - ・金沢いきいきフェスタ、栄区民まつりに参加しました。両日とも天候に恵まれ、多くの方に友の会のブースに寄っていただきました。
 - ・カレンダーの売れ行きが好調です。購入の予定をされている方は、早めにお願ひします。(土日は各 PJ が、平日はセンターのカウンターでお買ひ求めいただけます。1部 1,200円)
 - ・理事会報告にもありますように、森の家の改修工事に伴い、来年1月~8月車両の出入りができなくなります。森の家との共用の駐車場(森の家&BBQ 広場)も閉鎖されます。(通行許可証がある車両は通行可)

次回の定例会は、1月20日(日)9時からです。定例会は会員どなたでも参加できます。

●ごろすけノートより●

ごろすけノートは、ごろすけ館に置いてあるノートで、来館された方に観察の森やごろすけ館の感想を、自由に書いていただけるものです。

- ・太陽がまぶしく暑いですが、風がビュービュー、木がザワザワ・・・トンボが元気に飛んでいます。(6月)
- ・自然豊かですね。(6月)
- ・湿度が高く暑いですが、でも、自然が豊かで気持ちが良い。(6月)
- ・とんでもない暑さですが、森の中の木陰は涼しくて、天然のクーラーです。ここで一休みして、動物や植物の図鑑を見るのも楽しみです。動植物の写真の展示も、興味深いです。ミミズの生態を知りたいです。(7月)
- ・初めて横須賀から来ました。自然が多く残り、自然の生物たちとの出会いができました。久しぶりに歩いたー。
少々疲れた72歳の老人のなげきだー。(8月)
- ・よこすかからきました。まむしがいました。(10月)
- ・かえるがいたよ~!(10月)
- ・ゲームみたいなかんじだったので、またきたいです。(10月)
- ・初めて来たけど、自然がいっぱい楽しかったので、来てよかったです。(10月)
- ・とにかくすごいです。道のあるいていたら鳥が横切るし、はちの巣をみつけたりと・・・。鳥の合唱は、建物にも響きわたります。父がおどろいていたのは、小さい草にバッタがたくさんいたこと。1歩あるけば「やばい」、また1歩あるけば「すごい」ですよ。マジで・・・。ぼくがおどろいたのは、父のぼうしにトンボがやすんでいたこと。(10月)
- ・鳥の写真、どれも色鮮やかで美しいです。こんなにさまざまな鳥が来るんですね。オドロキです。(10月)
- ・近いのに、この頃御無沙汰してました。久しぶりに文庫から歩いて登り、気持ち良い!やっぱり来なくちゃ
四季折々に・・・。健康の有難さを感じます。自然・・・そしてこの山々、すばらしい。ありがとう!!感謝で~す。(10月)
- ・自然のことについて、もっと知ることができて、よかったです。かんしゃ!!たのしかったので、また来ます。リスはっ見。(11月)

行事「森の絵本を楽しもう」

8月は夏休みバージョンと題して「木の下で読み聞かせを楽しもう」と呼びかけました。当日、参加された方は大人の女性と男性各1名でした。

大きな木の下とはモンキチョウ広場のスタジイの木内側でジャングルのようなです。

外は暑くても木洩れ日が涼し気に揺れ不思議な空間を作っていました。

はじめにスタッフ4名はそれぞれが選んだ絵本を読みました。声に出して読むと絵本の中のいきものが身近に感じられます。それから参加者の方にも読んでいただきました。

男性の方は絵本を読んでもらうのは子供のとき以来だったそうです。

10月はハイキング途中で立ち寄った女性3名の方に「月夜のおまつり」を読みました。

夜咲くカラスウリの花を通して夜の森に興味をもっていただいたようです。

森の絵本づくりの会 志釜じゅんこう

森のこぼれ話

ふむふむ

激減する(?)ノウサギ

ウサギ追いかの山〜♪ かつて里山で身近な存在であったノウサギの数が全国的に激減している可能性があるという。環境省の「モニタリングサイト1000里地調査報告書 生物多様性指標レポート2017」によると、2006年以降の自動撮影カメラによるノウサギの撮影個体数は、全調査サイトを通して見ると、年間約1割のスピードで減少していることが示唆されている(10年間で約1/3に減少)。

日本自然保護協会によると、里山ではかつて定期的に間伐や植樹が行われてきたが、そうした伝統的管理が放棄されたことで草地的環境が減少、また若い木が少なくなったのがノウサギが減った大きな要因とみている。

さて、ここ観察の森でもモニタリングサイト1000の調査の一環として、2008年より自動撮影カメラを林内の獣道3か所に設置し、動物の数、種類を調べている。ノウサギの撮影個体数は2009~2011年(撮影月数約6か月/年)ではそれぞれ67、33、28匹であったが、2012年(撮影月数約4か月)では3匹、2013~2018年(撮影月数約3か月/年)ではそれぞれ11、5、11、4、2、8匹であり、減少傾向にはありそうだ。

観察の森にはノギクの広場、アキアカネの丘、ピクニック広場などの草地があり、ピクニック広場(2015~2017年に大規模工事実施)以外は、ここ10年で大きな変化があったようにも見えないが、何か環境が変わったのだろうか。また林内で若い木が減っているのだろうか。

ノウサギの減少傾向の理由はすぐには分からないが、まずはノウサギの生態をもっと知るために、いま自動撮影カメラ10年分のデータの分析を行っている。季節によって撮影される時間帯が異なっていることが分かってきたが、その理由は何か、食物の量や繁殖活動と関係するのか、また、それらの生活行動を脅かす何かがあるのだろうか。

筆者は、10年程前、能見台付近の山道を歩いていた時に、ぱったりノウサギに出くわしたことがある。その時のノウサギが山道を一目散に逃げるスピードの速いこと速いこと、まさに脱兎のごとくであった。そんな姿がまた見られることを願って調査を続けている。



自動撮影カメラで捉えたノウサギ

渡部克哉

定点カメラで動物調査

●横浜自然観察の森友の会 30周年記念講演会 報告●

友の会の30周年を記念した講演会は、10月21日（日）、この森の生きものの脈わいを支える円海山から三浦半島にかけての地形の形成や地質、また生態系の基盤となる植物相をテーマに、朝から昼過ぎまで3時間にわたって実施した。

当日は、横浜市環境創造局から緒賀みどりアップ推進部長や栄区の小山内区長、それに上郷東連合町会の芦川会長等の来賓の他、友の会会員、一般市民を含め88名の参加を得て研修室が後方まで満員となった。山口会長や来賓の挨拶、掛下CRからの森の紹介に続いて、お二人の講師からお話をいただいた。

まず「円海山緑地成立にかかわる自然史」について、火山灰から地質年代を決定する分野の第一人者であり、横浜周辺の事情にも詳しい町田洋先生（日本第四紀学会元会長、東京都立大学名誉教授）のお話を伺った。南関東の三浦半島、横浜、多摩丘陵地域の地形地質を形成させた要因、隆起運動の激しい三浦半島の最北部の特徴、また気候変動が激しい第四紀と呼ばれる時代には海進と海退が繰り返されたことなどが、現在の地形、生態系の特性を決め、人間社会の基盤となってきたことを学術的な知見を示しながら説明いただいた。

次に「三浦半島の植物相の特色とその変遷」について、長く三浦半島の植物相を研究してこられた大森雄治先生（元横須賀市自然・人文博物館 学芸員）がお話しされた。膨大な数のスライドを使いながら、三浦半島の植物相を代表する常緑広葉樹林（照葉樹林）、落葉広葉樹林、海岸植生について詳しい説明をいただき、最後には町田先生のお話とも重なる数万年から数千年単位の植物相の変遷についても触れられた。

アンケートでは、どちらのお話も、やや難しいところもあったが大変興味ある内容だった、という回答が多く5点満点で4点以上の高い評価をいただいた。

運営面では、当初心配した集客も多くの方々の協力で多様なメディアや手段を駆使して想定以上の参加をいただいた。ただセンターの改修後、研修室を使う行事としてはもっとも参加者が多く、特に後方の方々からはスライドが見難いなどの指摘をいただき、今後の課題となった。

多くの参加者、また来賓を通して、自然観察の森と行政や地域とのつながりも確認でき、30周年記念事業としては成功したと言える。

準備や当日の運営にあたっていただいた方々のご協力に感謝したい。

（報告者 中塚）

●いつでもどこでも身近な自然の案内人講座 報告●

開催日：11月3日（土）4日（日）

一般参加4名、会員参加2名、スタッフ4名

担当：森の案内人ハンミョウの会

本講座では、自然案内の基礎を学び、プログラムを考え、来園者をガイドする実践までを2日間で行いました。

ガイドの実践と聞いて、不安げな顔の参加者もいましたが、自分で考えたガイドプログラムを来園者へ披露し終わると、その満足感が表情から溢れだしていました。

受講前よりもボランティアやインタープリテーションについて理解できたという声もいただき、講座の目的も果たせたようです。

横浜市内からの一般参加者は1名でしたが、後日友の会に入会されました。

【報告】 保全管理フォローアップの会 第4回 (11/10 (土) 13~16時)

勉強会「2年目以降の草地の特徴について～ピクニック広場の植生図をつくろう～」

○講師：中村幸人先生（東京農業大学名誉教授）

○参加者 友の会 10名（今村修さん、落合道夫さん、岸本道明さん、小島正彦さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、山路智恵子さん、藤原功さん、星隈豊さん、渡部克哉さん）、一般1名、横浜市1名（山野崇さん）、レンジャー（掛下尚一郎、黒川麻紀野）

○内容

昨年に引き続き、中村先生を講師にピクニック広場の変化をたどる勉強会を行いました。今回は講義形式ではなく、ピクニック広場で植生調査を行いました。代表的な草地の調査区 14 地点をあらかじめ選定し、地点ごとの特徴について、解説を聞きながら植生調査を進めました。

園路上の地点は踏圧の影響をうけ、オヒシバ、カゼクサ、オオバコが生えていました。一方、踏圧の影響がほとんどない所ではメヒシバやカキビが生えていました。他では、ヒメムカシヨモギやオオアレチノギクなどの越年草が優先する群落、やや湿り気のあるオギの群落、乾燥したススキとアズマネザサが混生する草地、土が肥え多年生のセイタカアワダチソウやヨモギが優先する群落といった植生が見られました。また、チガヤの群落は、なぜそこにまとまって生えてきたのか要因が不明とのことでした。

工事の影響に加え、その後の草刈りの影響も相まって、様々なタイプの草地が出現していることがわかりました。ピクニック広場は現在、草本の群雄割拠のような状況にあることも説明を受けました。また、工事前のようなススキの群落に戻すのは難しいかもしれないとの見解がありました。

最後に植物社会学的手法による群落組成表の作成と、植生図の作り方についてお話いただきました。ピクニック広場の植生図については、今回の調査と追加調査をもとに有志で作成していきます。

植生がどのように変化するか判断が難しいとのことから、生きものと来園者が共用できるような草地の管理を行い、植生図を作って草地の変化をまずは追っていけたらと思っています。

【予定】 第5回保全管理フォローアップの会 1/12 (土) 13~15時 ★参加者募集

桜林において実生木の管理作業と第4回の勉強会の結果報告などを予定しています。

詳細は、メーリングリストでお知らせいたします。

【予定】 保全管理懇談会(後期)のおしらせ 2/2 (土) 15~17時 ★参加者募集

今年度、横浜市とレンジャーの行った環境管理作業（草刈や伐採など）、補修工事の確認、今後の保全管理について意見交換を行います。園内の環境管理に関心をお持ちの方なら、どなたでもお越しください

◎どちらの催しも、資料の準備の都合上、ご出席いただける方はできるだけ前日までに掛下 <kakesita@wbsj.org>、黒川 <kurokawa-a@wbsj.org>までご連絡ください。ただしお申込みなしでも参加できます。

【お知らせ・重要】上郷・森の家の改修工事にもなう、駐車場利用について

2019年1月から8月末まで、森の家の改修工事が行われます。それにもなう、森の家の敷地内の通路は歩行者も含め全面通行止めとなります。このため自然観察の森と**共用の駐車場も工事期間中は利用できなくなります**。なお、通行証をお持ちの方は、これまでどおり関係者駐車場まで通行できるよう調整をおこないました。ゲートの通過方法などは、直接レンジャーにお問い合わせください。工事車両が行き交いますので、これまでと同様に安全運転を心がけ、最徐行での通行をお願いいたします。ご不便おかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。

【募集】生きもの講演会「外来種ガビチョウの○×△」

今年度の「生きもの講演会」を1月27日(日)に開催します。講師は著書「鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。」などで話題の川上和人氏を迎えます。テーマとしてとりあげるのは、最近この森でも存在感を増して来た「外来鳥類」と、その1種ガビチョウです。また、鶏肉まるごとの解剖・観察を通して、鳥の体のつくりと暮らしの関連を学ぶ実習も行います。

対象は中学生以上40名(抽選)です。お申込み方法はHPをご覧ください。



【報告】「横浜自然観察の森調査報告 23」を発行

観察の森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 23」が完成しました。友の会のみなさんの日々の活動を多数収録し、約200ページの大作になりました。ご協力いただきありがとうございました。各プロジェクトに1部ずつお渡しするほか、観察の森HPでもPDF版が閲覧できます。ご覧ください。

ホランアサヒ

** 10/1~11/30 **

ありがとう

- 10/1~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 10/1~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 10/2 カワセミファンクラブのみなさま 台風による危険木の情報のご提供
- 10/14、11/11 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 10/24 雑木林ファンクラブ 大越徹朗さん 鬼久保洋治さん 展示用木製楽器のご提供
- 10/27 雑木林ファンクラブのみなさま CSR 活動用標柱の作成
- 10/27・28 石川裕一さん センター主催行事のサポート
- 11/14 雑木林ファンクラブ 片岡章さん 本の寄贈
- 11/23 中里幹久さん・今村修さん・上原明子さん センター主催行事のサポート



行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

年末年始のお休み

2018年12月28日(金)~2019年1月4日(金)は休館日です。

旧年中は大変お世話になりました。平成最後のお正月を穏やかに迎えられるように。



行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

- 望年会 →1ページ参照
12/22(土) 9:00～
対象：友の会会員とその家族
- 親子☆森のミニたたら体験→1ページ参照
2/16(土) 9:00～
場所：炭焼き小屋
友の会会員は見学可能(作業はできません)
- 初めてのバードウォッチング
2/24(日)
※詳細は次号(2月号)のゴロスケ報々にて

●自然観察センター主催行事●

- 新春のバードウォッチング Cafe
1/17(木)
(雨天時は1/24(木)に延期)
初心者向け。観察の後は鳥や森の生きもののミニレクチャーをコーヒーと一緒に。双眼鏡貸出あり。
時間：10時～14時半
対象：中学生以上 30名(抽選)
締切：1/9(水)
- 森の生きもの講演会
1/27(日)
鳥類学者の川上和人氏を講師に、外来鳥類のお話と実習を行います。
時間：10時～15時
対象：中学生以上 40名(抽選)
締切：1/16(水)

※いずれも申込制です。HP または観察センターのチラシをごらんください。

担当：自然観察センター
FAX 045-894-8892
Eメール yokohama-nc@wbsj.org

発行日 2018年12月16日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●共催 定例行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
2/17(日) 9:30～14:00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
1/6(日)・2/3(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)
～のんびり楽しむバードウォッチング～
1/13(日)・2/10(日)
9:00～13:00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

- 森の絵本を楽しもう
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
1/16(水)・2/20(水)
10:30～12:00 絵本製作
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

- 畑と作物をつくろう
～生き物にあふれた畑を目指して～
1/19(土)・2/16(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
1/26(土)・2/23(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜